

## 編み物教室の参加者募集

古川和子さん(松橋)が講師を務める編み物教室が開催されます。あなたの手元に、編みかけのものや編み方が分からなくなってしまったものはありませんか？全員が同じ作品を作るのではなく、一人一人の作品に合わせた指導をしますので、初心者の人でも気軽に参加してください。受講を希望する人、内容を知りたい人は下記まで問い合わせてください。

●期日：25年1月16日(水)、23日(水)、30日(水)、2月6日(水)、13日(水)、20日(水)、27日(水)、3月6日(水)の全8回 ●時間：午前9時～午後3時 ※会場使用料として1人1回300円の負担をお願いします。

●持ち物：毛糸(リサイクルでも可)、編み棒、昼食、編み図などがあればお持ちください。  
※編みたいものを考えてきてください。

●場所：学びいな研修室

●申し込み・問い合わせ：古川和子さん ☎(66)3339

## 門松づくり教室受講者募集

新しい年を手作りの門松で迎えてみませんか。本格的な門松とミニ門松の2種類から選んで作ります。

●日時：12月21日(金) 午前9時～正午

●内容：①門松一対(110号) ②ミニ門松一対(30号)

●材料費：2,000円程度

●場所：学びいな研修室

●定員：①②ともに10人程度

●申し込み：12月14日(金)までに

学びいなへ  
申し込んで  
ください。  
定員になり  
次第締め切  
ります。

☎(72)0180



ミニ門松(30号)



門松(110号)

## パソコン講習会 Excel ～活用編～受講者募集

家計簿や健康管理表などを作成して、グラフの挿入や関数の使い方を学習します。(Excel 経験者向け)

●日時：25年2月6日(水)、8日(金)、13日(水)、15日(金)、18日(月)、20日(水)

●時間：午前10時～正午

●場所：学びいな研修室

●定員：10名

●受講料：1,500円程度(テキスト代)

●申し込み：学びいな ☎(72)0180 ※定員になり次第締め切ります。

## 成人式の申し込みはお済みですか

平成25年度の成人式を下記のとおり開催します。参加を希望する人でまだ申し込んでいない人は、12月20日(木)までに申し込んでください。期限を過ぎると、当日配布する「成人式のしおり」に氏名を掲載することができなくなりますので、ご了承ください。

●日時：25年1月13日(日)

午後1時～1時50分(出席者受け付け)

午後2時～3時15分(式典・記念撮影)

●場所：学びいな ☎(72)0180

●対象：平成4年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた人で、下記のAまたはBに該当する人

A. 町内に住民登録をしている人(卒業した中学校は問いません)

9月末日現在で町内に住民登録をしている人には、往復ハガキで案内を送りました。「出席する」「出席しない」のどちらかを○で囲んで返信してください。10月以降に住民登録をした人で出席を希望する人は、電話で学びいなに申し込んでください。

B. 町内の中学校を卒業した人(住民登録の有無は問いません)

9月末日現在で町内に住民登録をしていない人には、往復ハガキの案内を送っていません。出席を希望する人は、学びいなに申し込んでください。家族などが代理で申し込む場合は、新成人の氏名、生年月日、住所、電話番号を申し出てください。

## 猪苗代町史を販売しています

町生涯学習課では、昭和50年代に発刊された「猪苗代町史」を販売しています。

猪苗代の自然の生い立ちから古代・中世・近代への変遷の歴史や、町内の集落の成り立ちなどを収めた「歴史編」。猪苗代に生活していた人々の生活様式から、交通・習慣・信仰・民俗芸能に加え、猪苗代に伝わる昔話や伝説などを収めた「民俗編」。磐梯山や猪苗代湖の成因、猪苗代の地形的特徴や気象・気候の特色に加え、猪苗代に生息する動植物の紹介など幅広く収められた「自然編」の3編の販売となります。

価格は下記の通りです。

◆猪苗代町史～歴史編～(1206ページ) 4,800円

◆猪苗代町史～民俗編～(919ページ) 4,000円

◆猪苗代町史～自然編～(543ページ) 3,500円

●問い合わせ・販売場所：町体験交流館(学びいな)内生涯学習課 ☎(72)0180



## 第11回「母から子への手紙コンテスト」表彰式が開催されました

第11回を迎えた「母から子への手紙コンテスト」の表彰式は12月2日、学びいなで開催されました。表彰式では、最終選考委員でもある芥川賞作家で僧侶の玄侑宗久さんが「東北の底力」と題して講演。会場に詰めかけた聴衆を魅了しました。

10月13日に行われた一次選考会では、町内のお母さん66人が、全国から寄せられた973点の作品を審査。11月5、6の両日開かれた最終選考会では、玄侑宗久さん、エッセイストの大石邦子さん、春日居郷土館・小川正子記念館名誉館長の末利光さん、一次選考委員代表の小林光子さんの4人が厳正に審査し、大賞、準大賞、日本郵便株式会社賞各1点、優秀賞7点、佳作41点の入賞作品を決定しました。

見事、大賞を受賞した松村則子さん(千葉県)の作品を紹介します。

娘がいつの日からか、ロボットになりました。それも、五、六語しか喋らないポンコツ・ロボットです。「宿題やったの?」「ウザッ!」「この靴下、かわいいと思わない?」「キモッ!」「ゴミ捨ててきてくれないなら、弁当無しよ」「恐ッ!」おねだりする時だけ、「超カワイイ!」「超ホシイ!」そんなポンコツ・ロボットから、ある日、間違いメールが届きました。「レナ、宿題やった?尊敬する人、誰にした?私は、美智子様 2、お母さん 3、米倉涼子、(えッ?私って、米倉涼子よりも上なの?)それからというもの、「ウザッ!」「キモッ!」「恐ッ!」も、《本当はお母さん大好き》に聞こえてしまうんです! (笑)

## 「健全な社会環境づくり運動」標語コンクール 最優秀作品を紹介します

町青少年健全育成町民会議が募集した「健全な社会環境づくり運動」標語コンクールには481点の応募があり、各部門から最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作3点選ばれました。

それぞれの部門の最優秀作品を紹介します。

●小学生の部 千里小学校 半谷 昂大さん  
夢に向かってがんばろう あなたの未来 無限大

●中学生の部 東中学校 柴田 菜摘さん  
あいさつに 笑顔をそえて 私から

●高校生の部 猪苗代高等学校 鈴木 柊也さん  
母親の 早起きさっそく 愛情弁

●一般の部 新町イ 市田 悟さん  
夢のある 若人育てる 猪苗代

土津神社では毎年、5月3日に春季大祭、9月21日に秋季大祭、新穀感謝祭が11月3日に行われる。素人考えながら「神道」の起源につながる古い形が保存されていて、参列していると、一瞬ではあるが、わが国の遙かな昔に還ったようで、なつかしく、ほっとするような心持ちになる。祝詞奏上、玉串奉奠など一連の儀式が終わって、氏子総代様のあいさつがある。ほぼ毎年のように、春はその年の豊作の祈願、秋の大祭と新穀感謝祭は作柄の報告とお礼を土津霊神に申し上げる内容となっている。昔から変わらず坦々と繰り返されているようでもあり、我が国の原点を示すものではないだろうか。

神道はその始まりが大変古く、縄文・弥生の頃から日本の風土と日本人の生活習慣や精神性に基つき、自然発生的に生じたとされ、他の宗教のように教祖や開祖の存在はない。

5世紀以降、外来宗教(仏教、儒教、道教など)の影響を受けながら次第に体系化され、特に仏教とは神仏混淆などの時代を経て今に至っている。

古いしきたりや建物、遺跡などの存在は、町の品格を高める。古いものがない町は、思い出のない人間と同じで、何となく薄っぺらな感じがしないでもない。

【注】神仏混淆 神道と仏教を調和・融合させること。

(土屋)

## 教育委員会コラム

### 第三十一回

## ◆学びいな・図書室の休館日◆

学びいなと図書室の12月と翌年1月の休館日は  
12月24日(月・祝)、27日(木)～翌年1月4日(金)、  
14日(月・祝)、28日(月)です。